

## 開設10周年記念シンポジウムを開催

霞ヶ浦環境科学センター開設10周年を記念し、9月5日（土）にセンター多目的ホールで「開設10周年記念シンポジウム」を開催しました。

シンポジウムは、市民等約160人が参加し、記念講演及びパネルディスカッションを行いました。

記念講演では、三村信男・茨城大学学長から「気候変動と霞ヶ浦」をテーマに、世界の気候変動の現状と将来予測や霞ヶ浦への影響等について、解説をいただきました。



パネルディスカッションでは、相崎守弘・霞ヶ浦環境科学センター長がコーディネーターとなり、パネラーの市村和男・（一社）霞ヶ浦市民協会理事長，海老澤武美・きたうら広域漁業協同組合代表理事組合長，富田悟・茨城県企画部地域計画課副参事及び三村信男・茨城大学学長と「霞ヶ浦の将来像」について、会場の参加者も含め、討論しました。



今回のシンポジウムでは、霞ヶ浦から受ける生態系サービスをいかに増やすかについて、様々な視点から議論でき、将来の霞ヶ浦のあるべき姿について考える良い機会となりました。